

## 地域コミュニティ連絡会について

アナ： 「市長が語る 2016 三島」第8回の今日は「地域コミュニティ連絡会」についてお話を伺います。豊岡市長、よろしくお願いします。

市長： よろしく申し上げます。

アナ： この「地域コミュニティ連絡会」は平成23年度にスタートした会議と聞いています。平成26年度までは「きずなづくりトーク」として、27年度からは「地域コミュニティ連絡会」と名称を変えて、三島市内の全ての小学校区で年2回ずつ開催しているそうですが、どのような会議なのでしょう。

市長： この会議は、自治会長や民生委員、PTAや消防団など、地域のリーダーの皆さんに集まっていただき、日頃の活動内容や、地域で抱える問題について話し合う会議で、これまでに延べ3,308人にお集まりいただきました。

アナ： これまで、どのようなことが話し合われたのですか。

市長： これまでに、「防災力の向上」や「高齢化対策」、「子育て」、「ゴミ問題」、「ふれあいの創出」など、現在起こっている地域の課題について話し合いを行ってまいりました。昨年度は、校區別に作成した「地域の取組み課題集」を使って、各校区の課題に応じた話し合いを行いました。

話し合いはワークショップ形式で、地域の現状を伝え合い、参加者が情報の共有を図ることで、校区の課題を参加した皆さんで考えることができました。

アナ： 地域で抱える課題というと、具体的にどのようなことが挙げられたのですか。

市長： 例えば少子高齢化問題では、老人会に入らない一人暮らしの高齢者が孤立してしまうこと、子どもの数が減って子ども会が解散してしまう自治会が増えていることなど、各世代にわたって地域での交流の場が少なくなっていることが、各校区共通の課題として挙げられました。

このような課題について参加者同士で情報を交換し共有することで、解決に向けた話し合いのきっかけ作りにもなりますので、実りの多い会議であると考えています。

アナ： そして、いよいよ今年度も「地域コミュニティ連絡会」が始まりますが、今年度はどのような話し合いを行う予定ですか。

市長： 今年度は、これまで各校区で提案された課題解決のための取り組みなどをまとめた「きずながつくる協働の取組み計画案」を策定したいと考えています。これまでの5年間に話し合われた地域の課題につきまして、いかにして地域のリーダーの皆さんが課題解決に向けての役割を担っていくのかを具体的な行動計画案として策定するものです。このような計画を実行に移していくためには、自治会活動をはじめ、各団体が相互に顔見知りになり、活動内容などをいつでも話し合え

る環境を作っていくことがとても大切です。

アナ： 確かに、他の団体が何をしているのかわからない、というような方も多いかもしれません。

市長： 各団体が話し合える場を作れば、地域のネットワークがより一層強くなり、子育て世代から高齢者まで皆が協力し合うことで、より住みよいまち、安心して暮らせるまちになっていくものと思います。

アナ： 地域の活性化にもつながりそうですね。

市長： 本当にそうですね。そのために、地域でどのような取組みができるか、連絡会で話し合っていきたいと思います。そして将来的には、行政主体でこの連絡会を行うのではなく、地域の皆さんが主体となって行う「地域コミュニティ協議会」へと移行していただきたいと考えています。三島市では、協議会の運営費補助や、市が養成する「地域づくりコーディネーター」派遣により、協議会の主催者をバックアップしていきます。

アナ： 「地域コミュニティ連絡会」の開催予定を教えてください。

市長： 5月31日の錦田小学校区を皮切りに、7月27日まで各小学校区で順次開催していく予定です。東小学校区については、今年の5月に市内で初の「地域コミュニティ協議会」が設立されましたので、協議会として開催される予定です。

各校区のリーダーの皆さんには三島市からご案内をお送りしますが、この連絡会は傍聴もできますので、詳しくは市のホームページをご覧くださいか地域安全課までお問い合わせいただきまして、多くの方にご参加いただきたいと考えています。

アナ： 私も地域の一員として、地域のために自分ができることを考えていきたいと思っています。豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長： ありがとうございました。